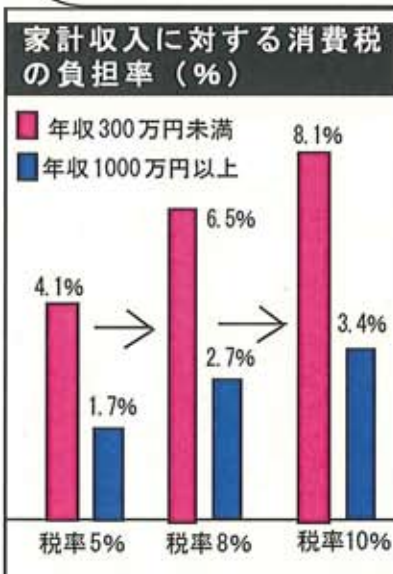


4月から

消費税増税と福祉は削減!

踏んだり蹴ったいは、許しません



4月1日から消費税が8%に増税されました。4人家族で月約1万円の負担増となります。左の図の通り、所得の低い家庭ほど税負担が重くなり、税率8%では年収300万円の世帯では6・5%の負担率で19万5千円です。「税と社会保障の一体改革」だから仕方ないのでしよう

社会保障切り捨てのオンパレード

4月から、介護保険料も後期高齢者医療保険料も値上げ。おまけに70歳以上の方の医療窓口負担が1割から2割になってしまいます。

か?給料は上がらず、年金は減るばかりですし...

介護保険も改善され、介護認定で要支援I・IIの方は、介護保険から外されてしまい、ヘルパー派遣やデイサービスも利用できなくなり事態。



2014. 4. 6号

(発行)

日本共産党市会議員
上田さち子
川添町五・十八
電・三五二八三



保育所不足、特養ホーム不足は放置のまんま。怒りの声を上げるしかありませんね。

西宮市も負担増に

西宮市への影響は、消費譲与税の収入と物品購入や工事発注等で同額(約9億円)が相殺され、反対に消費譲与税の収入があるからと、地方交付税を約5億円ほど削られてしまい、差引負担増に。

私のブログ「上田さち子とコーヒータイム」を更新中です。ぜひ、訪問して下さい。お待ちしております。

日本共産党

上田さち子です



「はね橋」の開閉を中止し、市民がいつでも通行できるようにという問題では、2013

私が一貫して要求している
②里浜マラソンとはね橋について
③災害援護資金について
の3テーマを取り上げました。

「はね橋」開閉時、通行隻数「ゼロ」と正式答弁

3月議会が終わりましたが、私は本会議一般質問を行い、
年度中(1月末まで)の開閉時の通行隻数(はね橋を開閉しなければ通行できない大型艇)が「ゼロ」だったことが、初めて本会議の席で答弁。

されました。さらに、2014年度は、マリナ地域の住民代表も加わり、開閉について協議するとなりました。

兵庫県第3次行革(福祉切り捨て)から、医療助成で市民を守る

県は、行政改革だといって、県と市の共同事業である老人や母子等の医療助成制度を切り捨てる計画です。

しかし市は、市民の命を守る立場から、市単独事業を継続させ、特に母子(父子)等医療助成で、県の計画で排除される2057世帯をフォローすることになりました。年収733万円未満の世帯が



対象です。

また、精神障害者保健福祉手帳所持者(2級)は、これまで入院の場合に限られていたものを、外来でも医療助成

水道・下水道料金引き下げへ

現在、水道料金は使用のいかに問わず10トン分の基本料金制です。単身者や節水努力をしている方から、「西宮市の水道料が高い」「料金がいつも一緒で変わらない」との苦情。私の2010年の本会議議案質疑に対し水道局は「料金体系の見直し」を明言しましたが、ようやく2015年度中には見直し実施の方向が出てきました。



が受けられよう、市単独事業として拡充。対象者は1250人です。国の悪政の防波堤として地方自治体が存在していることをさらに求めます。